

## 学会講演を自動で動画化、配信までをタイムリーにした技術 医療従事者の学習機会・効果の向上に貢献

同社は、医学系学会（医療従事者向け）を中心に教育動画等の受託制作をしてきた。日本では、年間4,000を超える学会等が、学術集会や講習会で数十万を超える講演が学術・教育目的で発表されている。この講演を学会員に届けるためには高価な機材や専門スタッフが必要で、撮影から配信まで多数の工程を要していた。そこで同社は、多数の講演をタイムリーに視聴できるように、講演の無人自動収録機を開発した。本機は、配信迄の工程も大幅に短縮でき、その結果、コストが抑えられ、その分より多くの講演を配信することが可能となり、医療従事者向け情報提供サービスとして事業化をはたした。コロナ禍の今、そのニーズは、ますます高まっている。

所在地	東京都千代田区内神田3丁目15番地1号	設立	2006年
電話/FAX	03-6280-4004 / 03-6280-5919	資本金	1,000万円
URL	<a href="https://www.gakkaitv.co.jp/">https://www.gakkaitv.co.jp/</a>	従業員数	5人
代表者	代表取締役 岸 勝久		



### 大量の講演の収録を自動化、配信までの期間を短縮

同社が開発した無人自動収録機は、本来は人が行う、映像や音声の調整といった作業を自動で行い収録することができる。また、ダブル収録機の搭載で記録エラーをカバー、記録の大容量化で1日の講演を止めることなく収録できる。また、配信に適した記録方式を採用し、配信迄のリードタイムを大幅に短縮、コストの削減を実現した。さらに、本動画を配信する専用のプラットフォームも開発。高画質な講演動画をタイムリーにたくさん、専門の医療従事者に届けることができる。



講演収録を自動化した収録機

### 企業・医師との強固な連携で質の高いサービスを実現

技術力の高い企業間ネットワークを持ち、質の高いサービスに繋げている。元ソニーのエンジニアが設立したデジタル機器開発会社との連携は、演者によって異なる音声レベルの均一化、異なるスライド解像度の標準化を実現。また、ベンチャーのウェブシステム会社との連携は、安心・安全に配信できるプラットフォームの構築を可能にした。さらに、大学病院教授からは医師の視点で助言をもらい、サービスのレベルアップに活用した。技術を最大限に活かしながら細かいニーズ迄満たしていくシステム開発姿勢は、コロナ禍で需要が増えている各種動画配信へも応用が可能である。



ニーズに技術で対応した配信画面

### 医療従事者の「学ぶ心」に応える

医療の世界は日進月歩、医療従事者は日々新しい知識を高める必要がある。その機会を提供しているのが、学会が開催している、学術集会であったり、講習会やセミナーである。しかし、多忙な医療従事者がすべての学会に参加できない。また、参加できてもすべての講演を聴講できなかったり、1回の講演では細かいデータの確認が難しかったりする。同社事業は、このような医療従事者のニーズを自社開発の自動収録機と専用の配信プラットフォームで応えることができた。さらに、専門医の単位認定システムやウェブ上の質疑応答システムなど、きめ細かなニーズに応じて日々アップデートし、医療従事者の「学ぶ心」に応えている。



医療従事者の学習機会向上